

62歳の安池氏と佐々木さん

白秋記念館に校歌を寄贈

いざよい会 △県職員湘友会▽総会

資料のご提供を
服装品・文房具・写真
絵画・パンフレット・雑誌
等ご提供ください。写真
は複写して、原物はお返
します。

＜寄 付＞	
正 忠 君 (24回)	
誠 一 先生 (元校長)	
周吉郎 君 (9回)	
留 治 君 (26回)	
谷 純子 遺族	
同 期 会	
明 君 (51回)	
実 君 (36回)	
同 期 会	
高 鈴 武 青 小	
橋 木 田 水 島	

三菱電機九州支社冷仕部
山崎公夫 〇 9 2
(721) 2180

(60年度)

10,000円
10,000円
30,000円
10,000円
10,000円
102,000円
3,000円
20,000円
48,320円

荒谷直

訃報

60年10月6日（日）午前11時から、総会が始まり、母校から新倉教頭（22回）、添田参乎（7回）、松本（4回）・増尾（46回）君が出席した。総会が終わって、『ころ』と題して、大蔵で筆を揮う寧ろの境野勝悟氏の話が行なわれた。

懇親会が終わって、3時より1時間半にわたり、1年生から4年生までの7君より、在学当時の思い出話や、座談会が行なわれ、録音された。

母校の草創期（1回↓4回生）

[illegible]

(写真) 左から亀田(4回)・沼上勲(3回)・

吹奏楽部OB

昭和56年春、ブラバノン・インサートには早くも『第一期演奏会』が催され、教育委員会の後援を得て、本年3月のコ

6例 最年長OBの19回生から新卒の61回生までの老若男女約40名。『ン十年間』の楽器を手に、音はもとより『の楽器を手に、音はもと』の楽器を手に、音はもと

て「いざ酔い」に通ず」と解説すれば、土田君(22回)と給料日が六日だからね」と補う。最後に校歌の合唱。土田君(22回)・公書センター

高木和男君 (1回生)	『食から見た』
中島 博君 (11回生)	『食と栄養』
亀田正雄君 (4回生)	『食と輸送船』

一湘会 60・9・3 (角若松)

昭七会(7回)総会

—

●▼●▼●▼●▼●▼

（旧職員）

員・故市瀬正毅先生

黑玉音(上)

昔の五ノリ

湘南中学校校舍配置図（昭和6年）

10月頃）
10回生・花井孝雄君

ビデオ
寄贈

創立当初からの校長室及び職員室

の時計の振子

また創部40年を記念し、部史の編集が進み、近

湖南中学校第一回生志願者心得

(大正10年)

憲新会から海軍会に
50名の部員が自己紹介

圖書館建設期成會趣意書・期成會

納入書・借用証書

後、校歌とエールで会

磬梯吾妻)

三

第1回 ロスアンジェルス湘友会

30 回卒の重成寛宜君（博ら、第1回LA潮友会の
報堂米州地区総支配人）か真と手紙、ロス在住20多
会員名簿に寄せられた

14 名が参会



何かと話題のロス・ア
ンゼルスですが、この度
第一回湘友会が開かれま
した。19年卒の菊地清先
生をはじめとし、各界で
活躍の多忙な卒業生、
が、当日14名も集まり、
湘南時代の昔話に花を咲
かせ、最年少の鈴木錦介
君のコンダクトで、秋歌
秀麗の富士で無事散会。
楽しい一時を過ごしまし
た。彼方より、湘友会
のご発展を、一同念じて
おります。

(岡田重成氏記)

27期会 八重洲富士屋ホテルで

女子1回生を招いて豪華に

から、八重州軍楽隊ホーンセクションの吹奏隊と、23名が会場へ来て、若原・阿田・津田・石井・小山・津田の5年生、それに一年下級の女子第一回生19名を相手に対戦した。

参加を奨励する中、抽籤の満中ばち、買戻しは、歌でしめくくった。

場、山口が代表として「お兄さん、おなつとかな」にあそび、満中ばちを叩きながら、歌をうた

39 回生 初めての同期会

80名が参加 行き届いた運営

39 回 生 初 め て の 同 期 会

80名が参会
行き届いた運営

横浜湘南会 (60. 6. 26)



支部長就任後、相原君

横浜支部
長について
は、61年に
入って、相
原三郎君が
就任を承諾
された。激
務の相原支
部長を輔け
、支部の
発展がはか
られること
になった。

11回生 来年は卒業50周年

湯河原で一泊、記念文集も

幹事伊藤公雄・服部善三郎君の努力で、毎年開かれる11回生の総会が、11月16日の6時から魚万会館で開かれ、常連・初参会合わせで21名、春原先生と湘友会から派田先生が参加し、にやかに進行了した。

伊藤君の経過報告のあと、春原先生の新任時代の思い出、鯉江先生への病気の紹介を終って乾杯。派田先生は、母校と湘友会の現状報告を行った。

来年度は、卒業50周年に当たるので、どんな内容で行



昭和60年度湖南27期金



39 回 同 期 会

理して案内し、80名が参加した。クラス主任の望月・杉山、小山市、東原、武雄谷と、孫田・高田・細谷・桜井先生が来賓として席した。

小柳（鎌倉市）君の「樹皮（藤沢市）君の司会で進行する。主任代表の小山先生は「不惑の年」を迎えたが、感無ないといふのでだめだ」と激励。孫田先生から湘友会の報告と70年記念への協力依頼があり、高田先生の発声で「乾杯後、懇談に入った。22年ぶりの再会で、各所に歓

香川家より寄贈

60年9月2日、香川先生のご遺族より母校に、グランドピアノ（ヤマハCレイドピアノ）と、サックス練習用Aと、サッパードスタンド（紙ベンデル5万円）が寄贈された。

香川家より寄贈

急 び す 会 (22回)

(61 1. 14)



38 回生の総会

$$\begin{pmatrix} 60 \\ \cdot \\ 8 \\ \cdot \\ 31 \end{pmatrix}$$

五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

初めに約の合図と共に、各段より総会を司った22年より出た組合男女の幹事を運んだ1組坂井、田村、2組高田、吉野、3組、駒崎、角田、4組、足助、土肥、5組川口、明美、恩恵。性的の中に入は髪の前や、薄見、男見、主任と交差する話に花が咲く。

6時より、藤沢平太場へ行く。

平塚湘友会

来賓に
亀井支部長

19 回録)で、平家宗が聞かれ、来までして宇
々崎市長亀井君(28回)、奥野伊勢原支部長亀井君(30
回)が出陣、宇々崎から亀井孝太郎君(20回)など何と
二宮の斎藤宗三君(25回)、大橋から堤谷君(36回)も
加わって、28名が参会。

市川会長(6回)は「よりよい支部を目標とせう」と
あいさつ。乾杯の音頭は、前会長「朝野君(5回)」、
副会長と副枝の近況報告は藤田君(7回)が行なな
って、自願紹介(1)で、心腹で制度上の難話は出た
ら、最良君(25回)、来春の地方選挙には会員のなかから
また家定で、前田沢のんだ亀井君(30回)が、あい



同厚木地区湘南
級生が横浜

亀井君を激励

開成会の川井君等(四回)

男の役員(左起)：川井君(四回)、
市議員の松岡君(三回)が幹事となつて、3月1日(日)正午から、厚木市遊藝場で、地区湘友会が開設せられた。高橋志郎君と、秦野の高橋志郎君(二回)と、浜田参吾君が来賓として出席した。

母校の現況報告のあと、自己原籍に移る。元支部、自己擁護の思いの強い、友部、田の井上君(八田色)から紹介が起る。紅点、赤橋、船橋先生が参会し、亀井君、船橋先生に続いて、女医の奥さん、産婦人科、世話を海難船に就いて、

説が経たずの、政支部亀井君の努力を国会に申し上るに努力することを申し合はせて散会した。

同級生50名が
集まつて

「5月9日夕方から、尾山町」(門前雄雄雄)から降参し、同級生50名と、同級生、赤橋、船橋先生が参会し、

卒業15周年記念
湘南四の五の会(45回)同期

卒後15周年を記念して、45周年同好会が海南
幸友会に「去年の11月17日、ヨコハマ・神戸
山形・松本・板井・中村・石川旭・鈴木鏡の旧担任
から出たご出席いただき、なごやかな雰囲気の下に、
代りに思い出や各団体の近況などのお話をきいた上、
体育館の8ミリのスクリーンにも、若き日の姿に秋
り、応援団員らの旗幟も映し出された」と報告した。
の再開期では、ちょうど西暦二千年となり
るのを機として、名残を惜みつゝ開会とな
る。お金の残10万円は、湘友会に寄付し

(分厚) 間は間に合わないで次号に掲載せし

大磯湘友会(60・5・25)

5月25日(日)正午から滄浪閣で恒例の湘友会、15名が参会した。奥山支部長あいさつの後、沢幹事より母校・湘友会の現況報告。懇親会からは、奇談・失敗談・逸話が次つぎに披露

県四十雀大会で準優勝

湘南ベガサス サッカークラブ

湘南ペガサス サッカークラブ

「先生先生の励ましのこ
も、亀井君が力強く感謝す
る」を述べた。

昨年の会報からこの承知
は、サッカ部部長の奥本
88年生の大部分と30
生に少数を含む
南六高生、サカキ

ラフは、相変わらず
活発で、60分間、
サカキは大活躍、果
成を挙げた。一昨年
も県各地から、十
五名のメンバーが参
加し、決勝のナミヤ
クラブとの対戦は、
四角の中の一隅、二
十六人のうち十一人
往々に名選手と稱さ
れる川西俊に敗れた。
も能く勝った。あ

この大会以外にも三
ヶ丘や隆盛など新入
も五月から大会が始
現在並進中という
今年は、同年代の実
一部に勝つのは勿
だが、他の七校に
比べて劣る。目標は
まだな若いものに

勝 (36回) 芹 沢

シンガポールの日僑



(左より 夫人・芹沢・渋谷・塚谷)

荒 間 蒼 海

南海の軟体怪魚

『40年来の狂作組』の逸材

33年2月の湘南高校火災直後のドサクサに入学、不自由だらけの中で自由を謳歌した36回生は、『40年来の狂作組』と潜称され、令名つとに高い兄貴分の27回生

ご案内 36回38組の皆さん

6月22日(日)湘友会総会の当日、久しぶりに集まりませんか。総会後、午後2時頃、グラウンド中央階段付近に集まり、その後、どこかに会場を決めて。
浅井 045(622) 7255

40回生 卒業20周年記念合同総会

湘友会に10万円寄贈

卒業20周年を記念して40回生合同クラス会が、60年9月29日(日)藤沢平安閣で午後2時から開かれた。150名の盛会となり、来賓として、竹下・新山・落合・北村・斎藤・望月・浜田の各先生が出席された。会は、36組の大谷(森田)さん(文化放送)の司会で進められ、幹事を代表して32組の田辺君、来賓代表で新山先生のごあいさつ、そして斎藤先生の発声で乾杯を行い、懇親会に移った。卒業以来初めての合同クラス会のためか、料理に手をつけるより、話に花が咲き、時のたつのを忘れてしまった。

来賓の各先生のお話の後、浜田先生より湘友会の現状報告があった後、この会を記念して、湘友会本部へ10万円を贈呈した。列席の先生方には、記念品として36組の矢井君製の鎌倉彫の菓子器が

作家斎藤栄君のお祝

150冊刊行・真珠婚感謝会

ホテル・オークラで

推理作家斎藤栄君(26回)が乱歩賞を受賞して20年、150冊もの作品を発表、結婚30年の祝も兼ねて、4月21日ホテル・オークラで感謝の会を開き、大山将樹名人、各出版社、二六会の有志50名外多勢の友人によって豪華な会となった。二六会は、吉居会長の祝辞・記念品贈呈、最後に校歌を合唱した。



湘友会有志が鎌倉で囲む会

鎌倉近辺の湘友会有志らが中心になって『斎藤栄君を囲む会』を、5月19日6時半から、鎌倉鶴ヶ岡会館で開き『静の舞』等のアトラクションも盛り込み、賑やかなお祝いの会を計画、参加者150名の盛会となった。

贈られた。

最後に、32組の今井君、33組の大矢君のリードで、校歌・青春の歌・壮行歌を合唱し、エールを行ない、5時過ぎ名残りを惜しみつつ散会したが、各クラスとも二次会場を設定しており、夜遅くまで旧交を温めた。